

市立秋田総合病院防災訓練

当院では、毎年消防法に基づき防災に対する意識の向上や避難方法の確認等のため、防災訓練を実施しています。

今年も10月24日(火)に第1回目の訓練を行い、6階ゴミ置き場からの出火を想定して、初期消火や避難誘導、患者搬送、消火器による消火訓練等を実施しました。

訓練終了後には、秋田消防署相楽消防司令より「臨機応変に落ち着いた対応の必要性」、「一酸化炭素中毒を避ける避難方法」等についてお話がありました。

今後も、防災対策の徹底と促進に努め、患者さんに安全で安心な環境を提供してまいります。



『夜間糖尿病教室』について

当院では、夜間糖尿病教室を開催しております。今年から、日中の糖尿病教室に参加できない方にも参加して頂けるように、夜間の糖尿病教室も開催することに致しました。日中と夜間では内容が異なり、日中の糖尿病教室は講義形式ですが、夜間糖尿病教室は参加者が体験できるような内容にしております。今年2回開催致しましたのでその概要をご紹介します。



第1回夜間糖尿病教室は、5月19日(金)午後6時30分から講堂で行い、参加者は12名でした。栄養室から1個600Kcalのお弁当を作って頂き、参加者全員で食べま

した。食べる前に自分のお弁当のカロリーを計算して頂きました。

食事の後にビデオ鑑賞と細葉先生のお話があり、スタッフも一緒に勉強しました。

参加者同士、お互いにお話しをしながら楽しくお食事することが出来ました。



第2回夜間糖尿病教室は、9月22日(金)午後6時30分から地下食堂で行い、参加者は29名でした。2回目はバイキング形式で行い、ご自分で料理を盛り付けて頂くことにしました。受付後、身長、体重を測定して医



生がネームプレートに指示カロリーを記載します。参加者は、指示されたカロリーに合った料理の盛り付けをします。料理は糖尿病患者さん向けの食事ではなく、普段ホテルで出されるものを並べました。盛り



付けた後、管理栄養士が量(カロリー)は適切であるか、バランスよく盛り付け出来たのかをチェックしましたが、遠慮して少な目に盛る方や多く盛りすぎて皿に戻す方など様々でした。



夜間糖尿病教室が患者さんにとって、普段の生活の中でどのようにして、うまく糖尿病と付き合いければよいかを学べる良い機会になって頂ければ幸いです。

夜間糖尿病教室の次の日程や内容は未定ですが、今後も引き続き開催する予定です。

当院には、糖尿病療養指導に対して専門的知識や経験を持った糖尿病専門の医師や日本糖尿病療養指導士がおります。糖尿病教室などの集団指導や外来及び病棟における個別指導を通して、患者さんのお役に立てるように頑張っておりますので、普段の生活でお困りな事や疑問に思っていることがありましたら、お気軽にご相談下さい。

糖尿病専門の医師

- ・細葉 美穂子 (消化器内科・代謝科医師)
- ・成田 琢磨 (消化器内科・代謝科非常勤医師)

日本糖尿病療養指導士

- ・伽羅谷 千加子 (管理栄養士)
- ・山田 公子 (管理栄養士)
- ・菊地 一正 (臨床検査技師)
- ・佐藤 寛 (臨床検査技師)
- ・金田 深樹 (臨床検査技師)
- ・小林 将人 (薬剤師)



インフルエンザ予防接種のお知らせ

インフルエンザウイルスに感染することにより、突然の高熱、頭痛、関節痛等の症状があらわれます。

予防接種を受けることによりインフルエンザにかかる率も低く、かかっても軽いと報告されております。接種後2週間程で抵抗力がつき、効果は5ヶ月間あるといわれています。なるべく12月中には接種を終えることをおすすめします。

時間 毎週火・金曜日午後2時から(受付は午後1時30分から)

人数 1日40名(予約制)

場所 呼吸器内科(中学生以下は小児科外来へお問い合わせ下さい)

料金 3,150円(税込)

●秋田市に住民票がある65歳以上の方は2,000円

●生活保護受給者は無料

持参するもの

●保険証 ●老人健康手帳または生保受給者証 ●予診票

ご不明な点は事務局医事課へご連絡ください

☎018-823-4171

乳幼児の嘔吐下痢症への経口補水療法について



小泉 ひろみ 先生

冬はロタウイルスやノロウイルスが流行する季節です。このため、こどもが下痢・嘔吐のために脱水症になることがあります。重症の脱水症は点滴から水分を補う必要がありますが、軽症のうちでしたら、今回お話する経口補水療法で軽快して、こどもたちが痛い点滴を受けなくて済むことがあります。WHOでも推奨されている方法です。手間はかかりますが、やってみませんか？

●経口補水液の作り方

- ①湯ざまし1リットルに砂糖40g(大さじ4.5杯)と塩3g(小さじ0.5杯)をよく溶かす
- ②かきまぜて飲みやすい温度にする
- ③果汁(レモンやグレープフルーツなど)をしぼる
.....もしなければ入れなくともよい。

●経口補水液の飲ませ方

▶体重5Kgの場合.....

小さじ1杯ずつを4分おきに与えます。4時間で250cc～500ccを与えましょう。その後、下痢のたびに60cc～120ccを与える。

▶体重10Kgの場合.....

小さじ2杯ずつを3分おきに与えます。4時間で500cc～1000ccを与えましょう。その後、下痢のたびに120cc～240ccを与える。

最初は嘔吐があるかもしれませんが、小さじで少しずつ飲ませていきます。ただし、下痢・嘔吐に以下のような症状がある場合は、すでに重症ですのですぐに受診しましょう。

①血便

②緑色のものを嘔吐

③呼吸が速く、眠りがちであるとか機嫌が悪い

④皮膚が冷たく、白っぽく顔色が悪い

⑤目が落ちくぼんでいる

⑥皮膚、舌、口が乾燥

⑦泣いても涙が出ない

⑧3ヶ月未満児で38℃以上

⑨3ヶ月～3歳児で39℃以上の熱がある

ロタウイルス、アデノウイルスの検査

ロタウイルスやアデノウイルスに感染したことによる下痢であるのか、便を見るとこれはあやしいな.....と感じることがありますが、感想だけで結果は出せません。ロタ・アデノウイルスと反応する物質と、特

殊な液に混ぜた便との反応をみることにより、ウイルスの検出をしています。比較的簡単に検査でき、約20分で結果がわかります。



乳幼児嘔吐下痢症の食事

ワンポイントアドバイス

水分補給は上記を参照し十分行いましょう。

下痢をしたときの食事は、便を目安に作りましょう。

軟らかい便なら、軟らかい食事。水のような便なら、ドロドロの液体状の食事。普通の便なら普通、もしくは離乳食を一段階前に戻した食事。

重湯、ポタージュ、おかゆ、白身の魚、よく煮たうどんなどがよいでしょう。

食べさせてはいけないもの

乳製品、冷たいもの、油もの、糖分の多いもの、生野菜など繊維の多いものは与えないようにしましょう。

卵や豆腐は便が固くなれば与えても良いでしょう。

ミルクなら問題ないと思われがちですが、消化が良すぎて返って下痢の原因になることもあるのでミルクは薄めて作りましょう。下痢が長引くときは乳糖不耐症のこともあるので受診しましょう。



温かい声援に見守られて

なかよし発表会



長期入院中の子どもたちが通うなかよし学級では、日頃お世話になっている方々に自分たちのがんばりの様子を見てもらおうと、なかよし発表会を行いました。

当日は子どもたちの担任の先生方、看護師さん、保護者、川尻小学校校長先生などたくさんの方に参観していただきました。途中ハプニングもありましたが、参観して下さった方々の温かい拍手に勇気づけられ、国語の学習で調べたことのスピーチや、楽器演奏や合唱など、学級での日頃の学習

の成果を発表することができました。お忙しい中参観いただきありがとうございました。これからもなかよし学級の子どもたちをどうぞよろしくおねがいします。

(10月27日/担任 葛野)



市民のための呼吸教室が開催されました



去る11月18日(土)に当院の待合ホールにて「市民のための呼吸教室」が開催されました。市民の皆様を対象とした呼吸教室は平成18年3月が初めての試みで、今回が2回目となり、たくさんの方々にお集まりいただきました。これからも呼吸器疾患に関する治療や薬剤、栄養、および運動などのお話をわかりやすくお伝えしていきたいと思ひます。

次回は来年2月か3月の開催となる予定です。院内の掲示や市の広報などでお知らせしますので、お気軽にお越しください。



蘭州市医療研修医

刘 圳 奋さん
(リュウ ジェンフェン)

私は22年間心臓血管の病気を専門にしてきました。現在、高齢者の病気に関する部門の副主任をしており、主に心臓や脳血管、内分泌等に関する病気を研究しています。

私はPCI(経皮的冠動脈形成術)やペースメーカーによる治療に関心があります。また、MOF(多臓器不全)に関する研究もしています。

勉強する機会を与えてくれた秋田市と市立秋田総合病院の皆様に感謝しています。

職業: 医師

勤務先: 蘭州市第一人民医院

居住地: 中国甘肃省蘭州市



市立秋田総合病院

理 念

- 市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

基本方針

- 患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。
- 多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
- 患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努めます。
- 良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。